

2026 年 5 月 12 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

光干渉断層血管撮影（OCTA）における機種間の異常血管網描出能の比較検討

研究の概要

【背景】

加齢黄斑変性（AMD）は、目の奥（黄斑部）に「黄斑新生血管（MNV）」と呼ばれる異常な血管が発生し、視力低下を引き起こす疾患です。この MNV の状態を観察するため、近年では造影剤を使わずに血管を撮影できる光干渉断層血管撮影（OCTA）という患者さんの体への負担が少ない検査が広く普及しています。

【目的】

本研究の目的は、当院で導入している 2 種類の異なる OCTA 機種（キヤノン社製 OCT-S1、およびニデック社製 RS-1）を用いて撮影された画像を比較し、それぞれの機種が MNV などの病変をどの程度きれいに描出できるか（画像描出能）を明らかにすることです。

【意義】

それぞれの機種の特性や、患者さんの目の状態（白内障の有無など）による描出の得意・不得意が明らかになることで、将来的により精度の高い非侵襲的な画像診断が可能となり、加齢黄斑変性の患者さんへより良い医療を提供することに貢献できます。

【方法】

過去の対象期間中に両方の OCTA 機種で同日に撮影された画像データを抽出し、眼科医が「どちらの機種で撮影されたか」を伏せた状態（盲検化）で、画像の鮮明さを 4 段階で評価・比較します。また、カルテ情報から患者さんの背景（年齢や目の状態など）を収集し、画質との関連性を統計学的に解析します。

対象となる患者さん

2025 年 11 月 25 日から 2025 年 12 月 24 日までの期間に、長崎大学病院において加齢黄斑変性（AMD）の診断で受診され、同日に Canon 社製 OCT-S1 および NIDEK 社製 RS-1 の両方で OCTA 検査を受けられた方。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・画像データ：OCTA 画像、黄斑部の形態的特徴（中心窩下脈絡膜厚など）
- ・カルテ情報：年齢、性別、加齢黄斑変性の病型、透光体混濁（白内障など）の有無と程度、測定時の視力、眼軸長

これらのデータは、氏名やカルテ番号などの個人を直接特定できる情報を完全に削除し、専用の番号（識別コード）に置き換えて匿名化を行った上で厳重に管理・使用します。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 7 月 3 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2028年3月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 眼科 氏名：池田 章吾 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7345
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 眼科 池田章吾 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7345 FAX 095（819）7347	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	